

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和5年12月20日(2023.12.20)

【公開番号】特開2023-18121(P2023-18121A)

【公開日】令和5年2月7日(2023.2.7)

【年通号数】公開公報(特許)2023-024

【出願番号】特願2022-190370(P2022-190370)

【国際特許分類】

A 2 4 F 4 0 / 5 0 (2 0 2 0 . 0 1)

A 2 4 F 4 0 / 4 6 5 (2 0 2 0 . 0 1)

A 2 4 F 4 0 / 5 3 (2 0 2 0 . 0 1)

10

【F I】

A 2 4 F 4 0 / 5 0

A 2 4 F 4 0 / 4 6 5

A 2 4 F 4 0 / 5 3

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月12日(2023.12.12)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バッテリーと、

前記バッテリーから供給された電力に基づいて可変磁場を発生させる誘導コイルと、

前記可変磁場によって加熱され、空洞に挿入されたエアロゾル生成基質を加熱するサセ
プタと、

30

前記エアロゾル生成基質の挿入及び抽出如何を感知する基質感知部と、

前記エアロゾル生成基質が前記空洞に挿入された場合、電力供給時間及び前記電力供給
時間より短い電力遮断時間を含む周期的制御信号によって前記誘導コイルに電力を供給及
び遮断する制御部と、を含む、エアロゾル生成装置。

【請求項2】

前記基質感知部は、誘導センサを含み、前記誘導センサは、電磁気誘導体を含む前記エ
アロゾル生成基質が前記空洞から抽出されることにより発生するインダクタンスの変化を
感知する、請求項1に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項3】

前記制御部は、前記電力遮断時間に前記基質感知部を活性化させる、請求項1に記載の
エアロゾル生成装置。

40

【請求項4】

前記制御部は、前記電力遮断時間に前記基質感知部が出力した出力値に基づいて前記エ
アロゾル生成基質が前記空洞から抽出されるか否かを判断する、請求項1に記載のエアロ
ゾル生成装置。

【請求項5】

前記電力供給時間は、前記電力遮断時間の1.9倍以上に設定される、請求項1に記載の
エアロゾル生成装置。

【請求項6】

前記制御部は、

50

前記エアロゾル生成基質が前記空洞から抽出された場合、前記誘導コイルに供給される電力を遮断する、請求項 1 に記載のエアロゾル生成装置。

10

20

30

40

50